

2025年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788(東証プライム)
2024年11月12日

中間期
過去最高

売上高

11,361百万円

(前年同期比 8.7%増)

中間期
過去最高

経常利益

1,949百万円

(前年同期比 10.5%増)

親会社株主に帰属する
中間純利益

1,306百万円

(前年同期比 9.4%増)

売上高、営業利益、経常利益で中間期過去最高を更新！

● 整水器

主軸の職域販売は売上高2,632百万円（前年同期比6.8%増）。健康経営を軸とした企業への一括導入事例が増加。スポーツ分野、美容分野への展開で販売効率向上。人員増強にも注力。

● 浄水カートリッジ

売上高2,947百万円（前年同期比4.5%増）。顧客フォロー強化による定期的なカートリッジ交換により安定的収益基盤を確保。

● インドネシア ボトルドウォーター事業

売上高1,531百万円（前年同期比59.0%増）。中間期過去最高を更新。TVCM、SNS広告等マーケティングの強化施策が奏功。

● 電解水透析事業

本年6月「第69回日本透析医学会学術集会・総会」にて電解水透析関連の発表が9演題。

● ステムセル研究所

売上高、営業利益、経常利益、純利益が中間期過去最高を更新。2024年4月に投資有価証券売却益136百万円を特別利益に計上。

2025年3月期 第2四半期 連結業績サマリー



単位：百万円 (百万円未満切捨)	2024年3月期 2Q実績		2025年3月期 2Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	10,452	100.0%	11,361	100.0%	908	8.7%
売上原価	3,082	29.5%	3,383	29.8%	301	9.8%
売上総利益	7,370	70.5%	7,978	70.2%	607	8.2%
販売費及び一般管理費	5,684	54.4%	6,121	53.9%	437	7.7%
営業利益	1,686	16.1%	1,856	16.3%	170	10.1%
経常利益	1,764	16.9%	1,949	17.2%	185	10.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,193	11.4%	1,306	11.5%	112	9.4%
一株当たり中間純利益(円)	155.76	—	170.40	—	14.64	9.4%

売上高のポイント

- ・ 中間期過去最高を更新
- ・ 日本トリム：整水器、CTRの伸長
- ・ グループ会社：ステムセル、SWTの伸長

売上総利益率の主な変動要因

- ・ SWT単体の利益率改善 (+)
- ・ SWT売上増による構成比の変化 (-)

販売費及び一般管理費のポイント

- ・ 変動費の増加 +118百万円
- ・ 広告宣伝費 +111百万円
⇒ 日本トリム、SWTのTVCM費用
- ・ 人件費 +91百万円
⇒ 定期昇給及び人員増による増加

特別損益のポイント

- ・ 投資有価証券売却益 149百万円
(内訳)
日本トリム 12百万円
ステムセル研究所 136百万円

2025年3月期 第2四半期 セグメント別売上高



単位：百万円 (百万円未満切捨)		2024年3月期 2Q実績		2025年3月期 2Q実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	2,465	23.6%	2,632	23.2%	+167	+6.8%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	811	7.8%	778	6.9%	△32	△4.0%
	SS事業部 (店頭催事販売)	267	2.6%	284	2.5%	+16	+6.3%
	MS事業部 (卸・OEM)	672	6.4%	533	4.7%	△138	△20.6%
	メンテナンス部門	172	1.7%	178	1.6%	+6	+3.6%
	リプレイス部門	173	1.7%	220	1.9%	+46	+26.8%
	WEB販売	245	2.3%	242	2.1%	△3	△1.2%
	整水器合計	4,808	46.0%	4,871	42.9%	+63	+1.3%
	(ストックビジネス)						
カートリッジ	2,820	27.0%	2,947	25.9%	+127	+4.5%	
(子会社売上)							
広州多寧健康科技有限公司	80	0.8%	62	0.5%	△18	△22.8%	
PT. SUPER WAHANA TEHNO	963	9.2%	1,531	13.5%	+568	+59.0%	
(その他)	487	4.7%	529	4.7%	+42	+8.7%	
小計	9,160	87.6%	9,943	87.5%	+782	+8.5%	
医療関連	再生医療関連事業	1,248	11.9%	1,408	12.4%	+160	+12.8%
	電解水透析事業	44	0.4%	9	0.1%	△34	△77.7%
	小計	1,292	12.4%	1,418	12.5%	+125	+9.7%
連結合計	10,452	100.0%	11,361	100.0%	+908	+8.7%	

<日本トリム>

整水器販売

- DS事業部 (職域販売)
企業一括導入事例の増加。
スポーツ、美容分野への展開加速。
- MS事業部 (卸・OEM)
前期、OEM代理店の顧客向けキャンペーンによる売上高大幅増があり、前年同期比減。
海外向け売上は増加。新規先折衝中。

カートリッジ

- 顧客フォロー強化により着実に伸長。

<PT.SUPER WAHANA TEHNO>

ボトルドウォーター事業

- 2023年度のTVCM、インフルエンサー活用したSNS広告等のマーケティングへの先行投資が奏功し、中間期売上高過去最高を更新。
- 2023年度TVCM(2月～3月、7月～8月)
2024年度TVCM(5月～9月)

<再生医療関連事業>

ステムセル研究所

- 保管検体数 (さい帯血、さい帯 合計) が中間期過去最高となり、売上高も中間期過去最高を更新。

業績予想に対する進捗状況

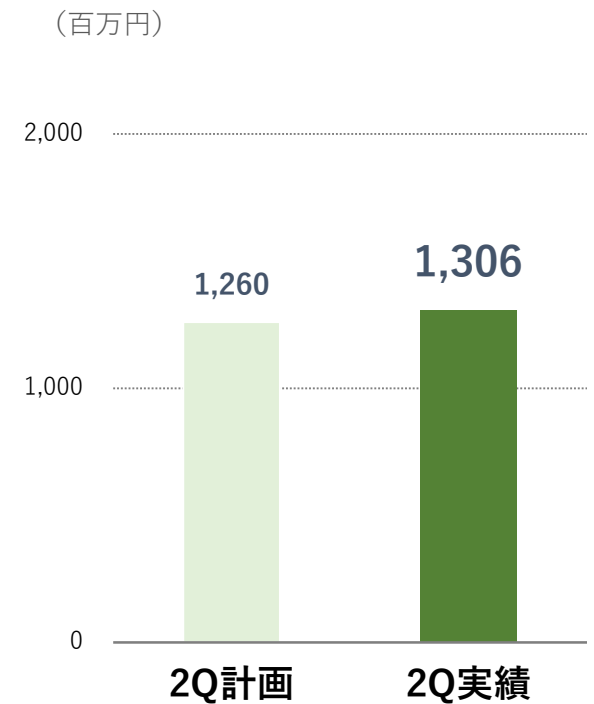
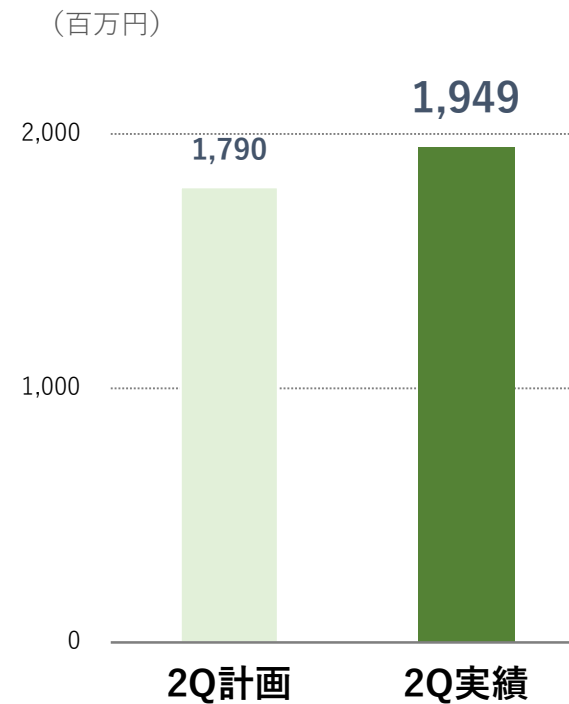
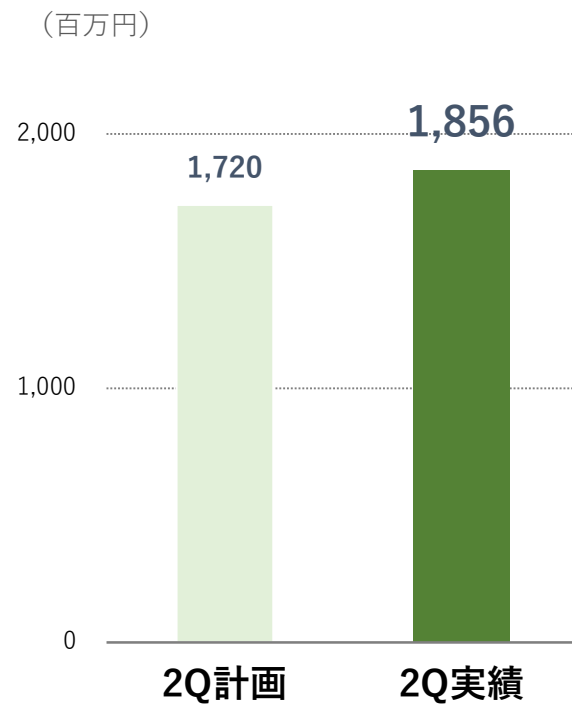
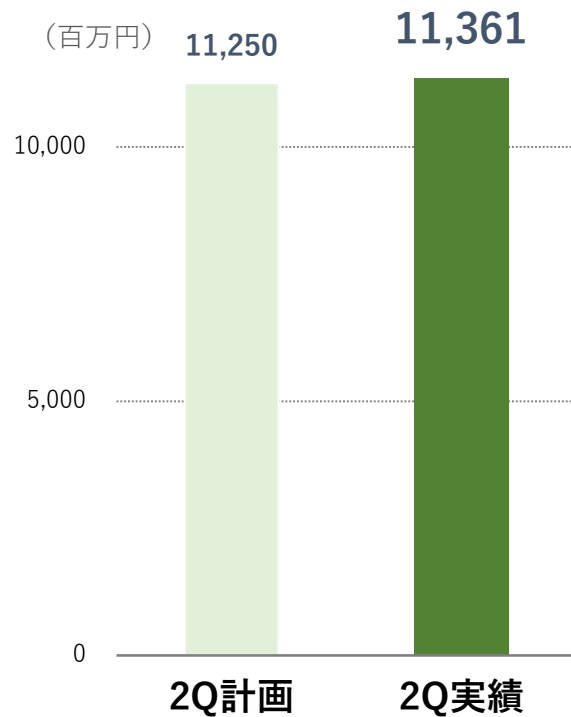
売上、利益ともに中間期業績予想を先行して進捗

■売上高 101.0%

■営業利益 107.9%

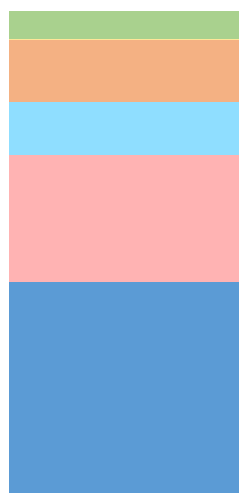
■経常利益 108.9%

■純利益 103.7%



2027年3月期の売上高目標

204億円

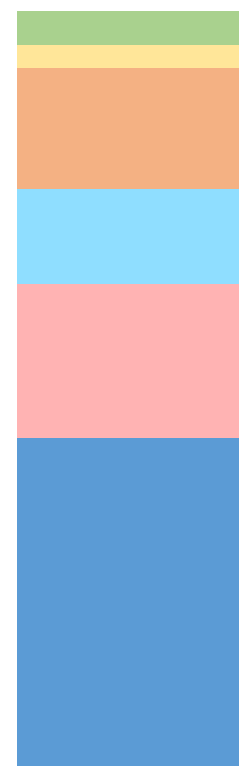


■ その他	: 11億41百万円
■ 電解水透析	: 60百万円
■ 再生医療関連	: 25億76百万円
■ インドネシア	: 22億67百万円
■ カートリッジ	: 53億48百万円
■ 整水器	: 90億20百万円

2024年3月期



320億円



■ その他 + 新規分野	: 14億円
■ 電解水透析	: 10億円
■ 再生医療関連	: 51億円
■ インドネシア	: 40億円
■ カートリッジ	: 65億円
■ 整水器	: 140億円

2027年3月期目標

資本政策の基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す。
(2022年11月8日改定)

現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト 概ね7.5%程度と認識 ▶ 2024年3月期のROEは9.9%
- 2 P B R 2024年3月期末 1.32倍

- ①2024年3月期のROEは9.9%、過去3年の実績平均は9.5%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、まずは中期目標である売上高320億の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

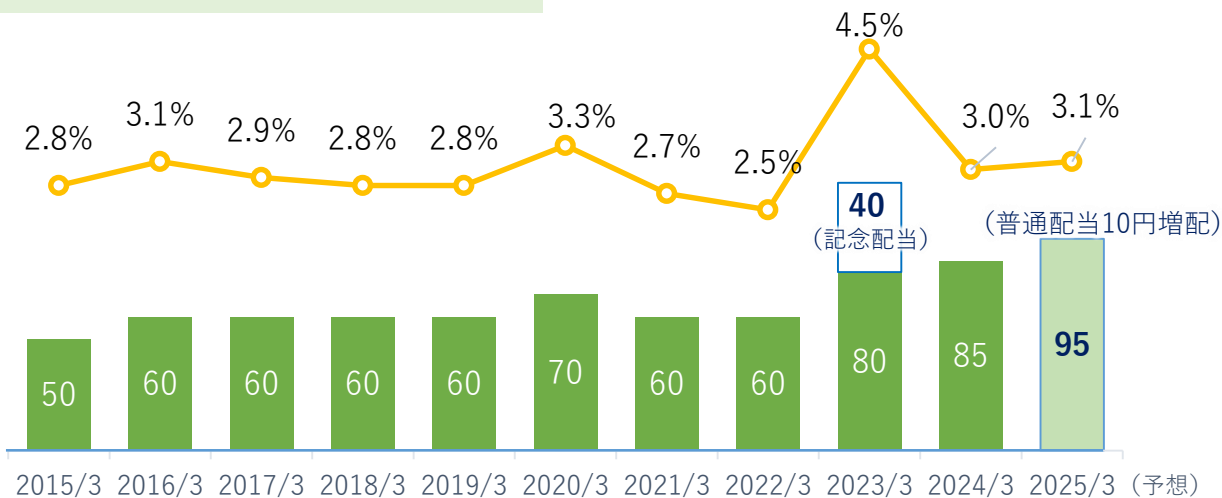
具体的数値目標

1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上

2 株主還元の強化 基準：DOE 3%

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

配当金額・DOEの推移



2025年3月期
期末配当予想 **95円** **10円増配**

DOE **3.1%** 配当性向 **29.5%**

※ 会社予想ベース

株主優待制度

※ 2024年6月取締役会により拡充を決定

電解水素水整水器 **40%オフ**
浄水カートリッジ **30%オフ**

ROEの推移

2024年3月期
(実績)
9.9%

2025年3月期
(目標)
10.6%

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。